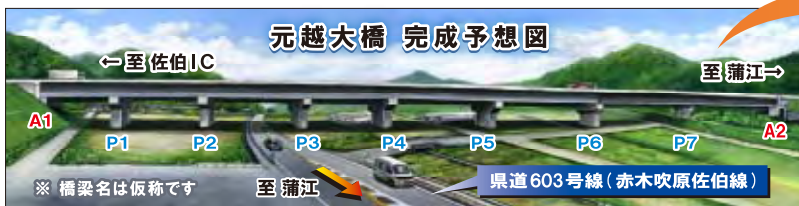


地域の皆さま、こんにちは!

佐伯現場監督所です

暑い日が続いておりますが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか？東九州道建設工事では各現場とも、作業関係者全員が、炎天下での熱中症に充分注意しながら、日々工事を進めております。今回の佐伯だよりでは、高城山(上城地区側)から大越川を越えて蒲江側に架かる「元越大橋」(橋長=376m)に関わる工事2件を皆さまにご紹介致します！



数字がついた「P」と「A」とは？

- A** abutment の略
アバットメント / 橋柱 (橋台)
= 橋の両側で橋桁を受ける台。
- P** pier の略
ピア / 橋脚 = 橋の中間部にある柱。



① 元越大橋下部工 (A1・P1) 工事

施工業者
② 小田開発工業(株)

この工事では、元越大橋の下部工(橋台1基・橋脚2基)を造ります。6月末から基礎杭(きそぐい)の施工を開始し、7月末に完了しました。この約1カ月間の工事は、地中に基礎杭を造る作業だったために施工が完了しても、外観にはまったく変化がありませんでしたが、これからは地面より上の躯体(くたい)構築に入っていきますので、日々変わっていく現場の状況を目にすることができると思います。



現在はP1橋脚の土台部(フーチング)のコンクリート打設が完了、P1柱部のコンクリート打設も、今月3日に完了しました。A1橋台のほうですが、こちらも掘削は完了しており、土台部(フーチング)のコンクリート打設に向けて作業を進めています。工事全体の進捗率は7月末の時点で47.5%で、工事全体の工期は来年の2月13日となっています。

現場からの声

★ 高校生が現場を体験! ★



作業に取り組む高校生

7月20日から22日までの3日間、佐伯鶴岡高校のシステム工業科の2年生3名が、当現場でインターンシップを行いました。暑い中での初めての現場体験でしたが、3名ともとても熱心な姿勢で取り組んでくれました。頑張る彼らの姿を見て、私達一同も初心に帰るような気持ちで、これからの作業に取り組んで行こうと、気持ちを新たにすることができました。

これから本格的な施工に入り、工事用車両が頻繁に走行します。今まで以上に運転手のマナーを指導し、皆様にご迷惑をお掛けしないよう努力する所存です。現場周辺においては、常に騒音や粉塵の対策を思案しながら工事を進めて行きたいと思っておりますので、どうぞご理解ご協力の程、よろしくお願い致します。



P1 躯体構築

H23.7/27 撮影

躯体とは? = 構造物の強度に関わる土台部分や骨組み(柱)のこと。



H23.7/26 撮影

P1 施工箇所

A1 施工箇所





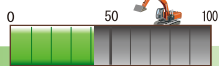
元越大橋下部工(P3~P6)工事

施工業者
(株)菅組

今回施工する場所は、県道603号線(赤木吹原佐伯線)から市道 黒の内観喜線の間位置するP3橋脚からP6橋脚までの4基で、各橋脚の下の地中に施工する直径1m20cmの基礎杭(場所打杭)を24本と、橋桁を支える躯体部分の下部工の工事を行います。



工事の進捗状況



40.7% (7月末現在)



今年5月下旬に着工してから、まずは橋脚を施工するための工事用進入路を構築後、P3橋脚からP6橋脚に向かって順次、基礎杭の施工を進めていきました。現在は基礎杭の施工を終え、次の段階として躯体部分の工事へと作業を進めているところです。



現場からの声



東日本大震災〜横断幕いっぱいのお礼のメッセージ〜

(株)菅組は、被災地の炊き出し隊に参加し、4月12日に宮城県石巻市渡波小学校避難所にて、ブリの漬丼2000食の炊き出しを行いました。その際に使用していた横断幕に、被災地の皆さまがお礼のメッセージをたくさん書いてくれました。横断幕は当現場に掲示しており、復興に向けて頑張っている被災地の方々からのあたたかいお礼の言葉を励みに、離れていても心はひとつ!共に頑張りましょう!という心構えで、私達も日々の東九州道建設工事に取り組んでいます。

当現場は県道・農道・市道と面しておりますので、地元の皆さまや通学路としてこれらの道を使われている生徒・学生さん、そして一般の方々の安全を第一に工事を進めていきますので、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願い致します!



H23.6/29撮影

基礎杭(場所打杭)
きそくい・ばしょうちくい

基礎を支えるための杭を土中に造ります。



H23.7/5撮影

床掘 とこほり

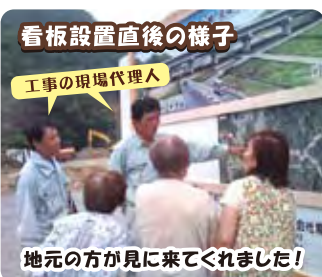
橋脚をつくるために、決められた深さまで掘っていく作業です。



被災地の方々からのありがたいお礼の言葉

元越大橋建設現場

憩いの場ができました!



看板設置直後の様子

工事の現場代理人

地元の方が見に来てくれました!



8/2(火) 現場見学会の様子

建設監督官から説明

佐伯市市政モニターの皆さまが見学にいっていただきました!

元越大橋建設現場に、工事の様子を見学できる憩いの場ができました。元越大橋の完成予想図や、佐伯ICから県境手前までの予定路線図などが掲示されており、工事の様子をゆっくりと眺める事ができるように、地元の大工さんが作ったあたたかみのある木のテーブルとイスも設置されています。

皆さま、ぜひ工事現場の見学においでください!



工事用車両表示について

東九州道建設に伴う工事で使用する大型車両の前後には、他の工事用車両と区別するため、「工事用車両表示」を行っています。旧佐伯市管内の工事で使用している車両は黄色、旧蒲江町管内の工事で使用している車両は緑色のラベルです。

工事用車両表示(例)



数字の意味は、「(工事番号)-(車両番号)」です!



後

前

東九州道(佐伯~蒲江)工事
12-11
国土交通省
〇〇建設(株)

旧佐伯市管内の工事用車両

東九州道(蒲江~県境)工事
15-01
国土交通省
〇〇建設(株)

旧蒲江町管内の工事用車両

車両の走行について、何かお気づきの点がありましたら、ラベルの色と番号を下記お問い合わせ先までお知らせ下さい。

本誌の発行

東九州自動車道 佐伯現場監督所

〒876-0824 佐伯市新女島剣崎6643-2

東九州道(佐伯地区)工事連絡協議会

お問い合わせ
工事に関する

国土交通省
佐伯河川国道事務所

または

東九州自動車道
佐伯現場監督所

(0972)22-1880

(0972)28-7825